

京都府立文化芸術会館

ぶんげい マスターピース工房 Vol. 3

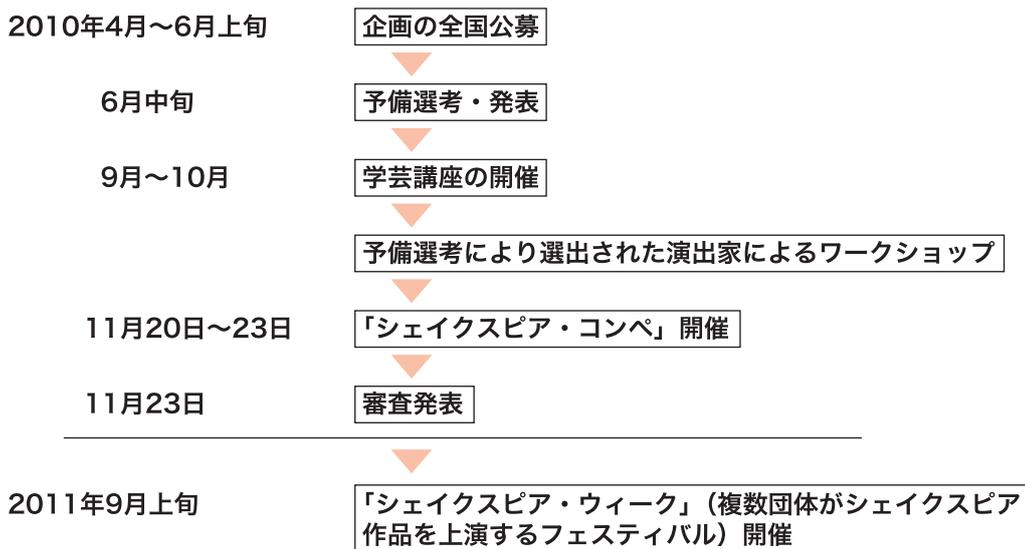
「シェイクスピア・コンペ」 参加企画募集

— "巨匠"に肉薄、なるか超越 —

京都府立文化芸術会館では、2010年11月に開催する「ぶんげい マスターピース工房 Vol.3 — シェイクスピア・コンペ」に参加する作品企画を全国公募します。

現代そして未来の演劇界を担う若き演劇人が、鋭い感性と深い洞察力を武器にシェイクスピアの"豊穡"に挑みつつ、多くの観客に向けて演劇の名作古典（マスターピース）に親しむ機会を提供することを期待します。

事業の流れ



主催／京都府・財団法人京都文化財団
助成／財団法人地域創造



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

企画趣旨

1 「ぶんげい マスターピース工房」について

京都府立文化芸術会館の主催事業「ぶんげい マスターピース工房」は、よく知られた演劇の"名作"を創造的に上演し、幅広い観客層に舞台の魅力を伝えることを目的としています。

関西の演劇界では、古典の上演は数が少なく、とくに、若手の劇団が取り組む機会はまだ限られています。また、古典を演目とする来日公演や東京などからの遠征公演も乏しいため、演じる側と観る側の両方にとって、"名作"に触れて演劇的知見を深める土壌は豊かであるとはいえません。

「ぶんげい マスターピース工房」は、こうした状況を打開するため、演劇人や一般観客に向けて、演劇の"名作"に親しむ機会を提供する事業です。初回の2006年度は、若手俳優を中心としてベルトルト・ブレヒト作『コーカサスの白墨の輪』を製作しました。全国公募を始めた「Vol.2」では、まず2007年度に若手の演出家がアントン・チェーホフの短編で競い合い、最優秀となったごまのはえ氏が2008年度に長編『三人姉妹』に取り組みました。2010～2011年度の「Vol.3」は、いよいよシェイクスピアがテーマとなっています。

2 なぜ"名作"か

古典の"名作"「マスターピース」は、その舞台製作や批評などのプロセスをとおして、作品の潜在力がひときわ追及され、発掘されてきた演目です。同時に、学術の世界でも、作品や作家・その時代についての考察が、数多く蓄積されています。

「ぶんげい マスターピース工房」は、名作にまつわる膨大な知識・情報と、今後の演劇界を担う若い創り手の鋭い感性・深い洞察力が交錯することで、より魅力的な舞台が生まれることを期待する企画です。また、こうした名作にかかわる知識・情報は、併設する学芸講座などをとおして一般の観客にも提供されます。それによって、演劇における名作を深く楽しく味わう土壌をはぐくみます。

3 「ぶんげい マスターピース工房 Vol.3 — シェイクスピア・コンペ」について

「シェイクスピア・コンペ」は、「ぶんげい マスターピース工房 Vol.3」の2010年度主要事業です。全国公募を経て選出された複数の作品企画（シェイクスピアに触発されたオリジナル短編）を、京都府立文化芸術会館ホールで11月に上演します。ここでは、①シェイクスピアについての一定の知識と、②その面白さを舞台化できる技術・センス、および③演劇マニアだけでなく一般の人々にも提示できる柔軟な方法論、を兼ね備えた演劇人による作品上演が期待されています。

その準備段階として、9月から10月にかけてはシェイクスピアの専門家や舞台関係者による学芸講座が開催され、「コンペ」関係者さらには一般観客に向けて、作家や作品についての豊富な情報を提供します。講座の講師はまた、「コンペ」作品製作過程で、必要に応じて上演作品の質向上に向けたアドバイザー役としても関与します。

「コンペ」参加企画主体の演出家には、同じく9月～10月にかけて、俳優や一般の人々が参加するワークショップを実施することが課せられます。2011年夏に開催予定の「シェイクスピア・ウィーク」では、このワークショップ参加者の一部も、上演作品に出演することが期待されています。

「コンペ」では、観劇審査によって「最優秀」「優秀」の2作品が選ばれます。その作品の企画主体は、2011年夏の「ウィーク」への参加権（演出家が「コンペ」時と同一であることが条件）を獲得します。

企画詳細

作品企画公募・予備選考方法

- 1) 公募期間：2010年4月20日（火）～6月10日（木）※必着
- 2) 募集要領：参加企画募集要領を参照
- 3) 選出企画：最大10件
- 4) 選考方法：書類審査
- 5) 予備選考委員：ごまのはえ（劇作家・演出家、NPO法人京都舞台芸術協会理事長、
「ぶんげい マスターピース工房 Vol. 2」最優秀演出家）
菊池あずさ（シェイクスピア研究者、京都府立大学非常勤講師）
椋平 淳（プロデューサー、(財)京都文化財団シアターアドバイザー、
大阪工業大学教授）
- 6) 発表日：6月21日（月）
- 7) 発表方法：京都府立文化芸術会館ホームページ上、および各応募者への通知

学芸講座

- 1) 日 程：2010年9月～10月（合計3講座）
- 2) 会 場：京都府立文化芸術会館小スペース
- 3) 担当講師：シェイクスピア研究者・演出経験者などの専門家
- 4) 対 象：「シェイクスピア・コンペ」選出企画関係者、演劇関係者、一般
- 5) 内 容：シェイクスピアの作品解釈や時代背景、上演史、演出経験者の経験談など、
「コンペ」上演作品の舞台成果向上に資する情報の提供
- 6) そ の 他：参加が難しい関西以外の選出企画関係者には、録画を送付予定

ワークショップ

- 1) 日 程：2010年9月～10月、各講師それぞれ1～2日程度
- 2) 担当講師：予備選考により選出された演出家
- 3) 会 場：京都府立文化芸術会館小スペース
- 4) 内 容：俳優向け、および一般向けのプログラムを各演出家を実施
- 5) そ の 他：ワークショップ参加者の中の若干名に対して、2011年9月開催予定の「シェイクスピア・ウィーク」上演作品への出演依頼を予定

「シェイクスピア・コンペ」

- 1) 日 程：2010年11月20日（土）～23日（火・祝）
- 2) 会 場：京都府立文化芸術会館ホール
- 3) 上演条件：a) 上演援助金60万円
b) チケット収入の20%は公演予算に使用可能
c) 会場使用料・付帯設備費・管理人員費は必要なし
d) 広報は京都府立文化芸術会館が行う

審査発表

- 1) 日 時：2010年11月23日（火・祝）公演終了後
- 2) 会 場：京都府立文化芸術会館ホール（会館ホームページでも公表）
- 3) 賞 賞：最優秀作品賞
（副賞）「シェイクスピア・ウィーク」参加権（会場：ホール）
優秀作品賞
（副賞）「シェイクスピア・ウィーク」参加権（会場：小スペース）
- 4) 審 査 員：後日発表
- 5) そ の 他：同時に、2011年開催の「ぶんげい マスターピース工房Vol. 3—シェイクスピア・ウィーク」概要発表予定

ホール概要

最後列にいても、舞台上で演じる者の息遣いが伝わる。
また演じる側には、客席の反応がダイレクトに跳ね返ってくる、
客席と舞台が一体感を持つホールです。
400人というキャパを持ちながら、舞台面積と客席面積がほぼ
同じ、というまれに見る構造だからこそ、その感覚が味わえます。



【舞台花道から】
写真は反響版仕様と
なっております。



【舞台上手から搬入口】
搬入口前が駐車場となっており、
道具類の搬出入が行いやすくなっ
ております。



舞台総面積	421.47平方メートル
客 席 数	固定席419席+車椅子ブロック/3
舞 台 間 口	7間半 (13.5m)
舞 台 奥 行	6間 (10.8m)
プロセニウム高	27尺 (8.1m)
す の 子 高	54尺 (16.2m)
迫 り	7尺×21尺 (2.1m×6.3m) *昇降速度40秒/4.5m 制限重量1500kg
搬 入 口	18尺×11尺 (5.4m×3.3m)
舞 台 袖	上手/30尺×30尺 (9m×9m) 下手/30尺×17尺 (9m×5.1m)
花 道	3尺3寸×20尺 (約1m×6m) ※上手下手共
緞帳 (2張)	第一 電動 (昇降時間 9秒~16秒) 第二 電動 (昇降時間 16秒)
暗転幕 (1張)	手動
引割幕 (2張)	第一 手動、第二 手動
大 黒 幕	手動 (バトン15)
ホリゾン幕	固定
美術バトン (手動)	2・3・4・6・8・9・11・12・13・14・15
(電動)	1・5・7・10→とびきり 47尺 (昇降時間 76秒)

「シェイクスピア・コンペ」 参加企画募集要領

以下の要領で募集します。

応募条件

- 1) 演出担当者がすでに3本以上の作品を演出していること
- 2) 「シェイクスピア・コンペ」および「シェイクスピア・ウィーク」での上演主体に選出された場合、定められた日程・会場において確実に上演を行えること（俳優・スタッフなど、上演プロダクションチームは各自で組織してください）
- 3) 学芸講座への出席、ワークショップの実施なども含め、当事業全体の趣旨を理解した上で、当事業の成功に向けて協力していただけること

応募方法

以下の1)～4)の必要書類・資料を、下記の提出先まで郵送、もしくは持参してください。

- ・演出担当者と戯曲担当者が別人の場合は、1)⑥・2)・3)については双方の書類・資料を提出してください。
- ・すでに上演されたオリジナル作品（改訂版を含む）での応募は不可。ただし続編は可とします。
- ・書類・資料の返却を希望される場合は、事務局までご相談ください。

1) 所定の応募用紙

①企画主体名（ふりがな）

*既存の演劇団体だけでなく、当事業に向けて組織したユニットでも可

代表者名（ふりがな）

演出担当者名（ふりがな）

戯曲担当者名（ふりがな）

連絡担当者名（ふりがな）

②連絡先住所

③電話番号・FAX・Eメールアドレス

④演出・戯曲担当者生年月日

⑤演出・戯曲担当者代表作品（合計3～5作品）

⑥演出・戯曲担当者略歴・受賞歴

*応募用紙は当館ホームページよりダウンロードできます

京都府立文化芸術会館Webサイト：<http://www.bungei.jp>

2) 演出・戯曲担当者代表作品チラシ・プログラム（各1～2作品）

3) 演出・戯曲担当者代表作品公演ビデオ（各1～2作品）

4) オリジナル作品企画書（A4版用紙使用、書式自由）

*シェイクスピアの作品・一場面・登場人物など、シェイクスピアと具体的に関わる要素に触発されたオリジナル短編作品（60分以内）の上演を企画すること

*以下の項目を含んで作成すること（全体で10枚程度にまとめること）

- ・触発された作品・一場面・登場人物についての考察・解釈
- ・オリジナル作品のストーリー・構成
- ・演出プラン
- ・主な出演者・スタッフ（予定・希望も含めて）
- ・舞台美術・衣装など、ヴィジュアル的なイメージ
- ・その他、特記事項

* その他の留意点

- ・ 京都府立文化芸術会館ホールを会場とし、広い観客層を意識すること
- ・ 素舞台・置き道具を基本として、できるだけ短い転換時間（15分程度）で上演可能であること

公募期間

2010年4月20日（火）～6月10日（木）※必着

予備選考委員

ごまのはえ（劇作家・演出家、NPO法人京都舞台芸術協会理事長、
「ぶんげい マスターピース工房 Vol. 2」最優秀演出家）
菊池あずさ（シェイクスピア研究者、京都府立大学非常勤講師）
棕平 淳（プロデューサー、（財）京都文化財団シアターアドバイザー、大阪工業大学教授）

結果発表

- 1) 発表日：6月21日（月）
- 2) 選出企画数：最大10件
- 3) 発表方法：京都府立文化芸術会館ホームページ上、および各応募者への通知

提出・問合せ先

京都府立文化芸術会館 「ぶんげい マスターピース工房 Vol. 3」事務局 宛
〒602-0858 京都市上京区寺町通広小路下ル東桜町1
TEL/075-222-1046 HP/http://www.bungei.jp
* 応募書類は郵送もしくは直接ご持参ください。



企画主体名	(ふりがな) ----- ※既存の演劇団体だけでなく、当事業に向けて組織したユニットでも可。
代表者名	(ふりがな) -----
代表者の担当 (<input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。)	<input type="checkbox"/> 演出 <input type="checkbox"/> 戯曲 <input type="checkbox"/> その他 ()
演出担当者名	(ふりがな) -----
	生年月日 昭和・平成/西暦 年 月 日生
戯曲担当者名	(ふりがな) -----
	生年月日 昭和・平成/西暦 年 月 日生 *演出担当者と同一人物の場合は「同上」で可
連絡担当者名	(ふりがな) -----
連絡先住所は、事務局からの案内等の送付先となります。	
連絡先住所	〒
連絡先	TEL
	FAX
	E-mail
演出・戯曲担当者代表作品 (3~5作品)	

- オリジナル作品企画書 (A4版用紙使用・書式任意) を添付してください。
- 代表作品チラシ・プログラム及び代表作品公演ビデオを添付してください。

